

## 授業の方法と評価について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年12月7日）

学生にやる気がある（学ぶ意志がある）にも関わらず、課題の解き方や書き方がわからず提出できなかったり不完全なものを提出したときに成績が減点され、時には落第するのはなぜですか。

出来なかった学生にできるよう教えて再度評価するならわかりますがそのようにしている授業は見たことがありません。学ぶ意志をもった学生が授業に参加して、できない時、間違えた時その責は学生には無く、講師や大学のシステム等にあると考えますがなぜ学生の成績が減点されるのですか。

また、演習問題というのは理解を助けるためにあり、必ず学習の過程に位置づけられるものだと思いますが、例題や他の演習問題を紹介することもせずにそれを成績評価に利用している講師が非常に多いのはなぜですか。

【回答】（回答日：2020年12月10日）

（回答部署：教育推進・学生支援部教務企画課）

本学での教育課程は単位制となっています。授業科目にはそれぞれ単位数が定められており、その単位を修得するためには、受講する科目の履修登録を行い、所定の時間学修し、その試験その他の方法により合格しなければ単位の修得はできません。

1単位あたりの学修時間（授業＋授業外学修）は、45時間と定められており、本学では、講義・演習であれば、授業で15時間と授業外学修（予習と復習）で30時間、実験、実習及び実技であれば、授業で30時間と授業外学修（予習と復習）で15時間の学修が必要です。

なお、本学の教育理念は、対話を根幹とした自学自習であり、学生が教員から高度の知識や技術を習得しつつ、同時に周囲の多くの人々とともに研鑽を積みながら、主体的に学問を深めることとしています。

また、課題・レポートの解き方や書き方がわからない場合は、自らが授業後、担当教員へメール等で質問する、又はオフィスアワー等を設けていますので、それらを積極的に活用してください。